

→先生からご提案いただいた尿中 8-OHdG は検体が尿のため、透析患者さんから尿を採取することは難しいと考え、断念しました。

⑨ ヘマトクリット値と d-ROMs テストの相関は何を意味しているのでしょうか？

→透析前後のヘマトクリット値の増加率は除水による血液の濃縮と考えました。ヘマトクリット値と d-ROMs テストが相関があるため、d-ROMs テストの増加も除水による濃縮の影響ではないかと考えます。

⑩ 今回、比較した他の生化学項目は、有意差はなかったのでしょうか？ちなみにクレアチニンはどうでしたか？

→多くの項目で有意差がありました。クレアチニンは相関係数 0.4 くらいでした。

⑪ 多くの検討をされていたのであれば、表にまとめて提示したほうが良かったと思います。

→わかりました。ありがとうございました。

⑫ 鉄やビタミン C の内服者が対象者に含まれていましたが、対象者から除いたほうがよかったですと思いますがいかがでしょうか？

→鉄およびビタミン C 内服の有無について有意差を検討いたしましたが、有意差はありませんでした。患者背景にて有意差があったものは、報告したように年齢と透析歴のみでした。

⑬ 相関の高さを過去の報告等を用いて、効果量で検定しましたか？

→検討していません。ただ、今回、相関があった項目に関しては、過去に報告がないと思います。効果量の検討につきましては不勉強なため、今後勉強していきたいと考えます。

⑭ 本研究の限界についてはどう考えていますか？

→透析治療自体が未知の部分が多いため、臨床検査技師の立場では、透析セッションにより除去されるものや蓄積される物質を測定し、評価することしかできません。

⑮ 透析セッション直後と比較して、時間が経つと直後の結果よりよくなっているかもしれません。今後、時間軸も取り入れての検討をお願いします。

→わかりました。ありがとうございました。